

## アンケート集計結果報告

### 概要

- ・アンケート実施日時：平成23年6月6日（月）医療連携協議会・研修会内
- ・参加人数：130名
- ・アンケート回収：95名（回収率 73%）
- ・アンケート内容：別紙参照

### 結果

#### 問1 ご自身の職種は？

・介護支援専門員	59	・保健師	3
・相談員	12	・作業療法士	2
・看護師	9	・その他	4
・介護職	7		

#### 問2 春日部市認知症対策事業における研修会への参加は？

##### はじめて

・介護支援専門員	22	・保健師	3
・相談員	9	・作業療法士	2
・看護師	6	・その他	2
・介護職	4		

##### 何回か参加したことがある

・介護支援専門員	37	・保健師	0
・相談員	3	・作業療法士	0
・看護師	3	・その他	2
・介護職	3		

#### 問3 認知症疾患医療センター武里病院 研修会・医療連携協議会への参加は？

##### はじめて

・介護支援専門員	34	・保健師	3
・相談員	10	・作業療法士	2
・看護師	7	・その他	2
・介護職	4		

#### 何回か参加したことがある

・介護支援専門員	25	・保健師	0
・相談員	2	・作業療法士	0
・看護師	2	・その他	2
・介護職	3		

#### 問4 問2、問3で「何回か参加したことがある」と回答した方に・・・

- 認知症患者医療センターの指定や対策事業がはじまり約1年半を迎えますが、日々のケアにおいて地域やご自身に変化した点はありますか？

#### ある

・介護支援専門員	28	・保健師	0
・相談員	0	・作業療法士	0
・看護師	3	・その他	2
・介護職	2		

#### なし

・介護支援専門員	9	・保健師	0
・相談員	2	・作業療法士	0
・看護師	0	・その他	0
・介護職	1		

#### 「ある」と答えた方の具体的内容

- ・紹介しやすくなった
- ・武里病院を身近に感じ、連絡を取りやすくなった
- ・担当相談者がいることが話しやすくなった
- ・認知症の専門病院ということで、紹介しやすくなった
- ・利用者家族に受診をすすめたい
- ・窓口がある事で家族との関わりも以前よりは良くなったと思う
- ・相談ができることで安心できる
- ・相談窓口があり相談をしたことが2回ほどある
- ・利用者に紹介し受診してもらった
- ・相談窓口が増えた気がしている、安心。相談しやすくなった
- ・医療への連携（連絡や相談）を躊躇していることがあったが、病院窓口の事前相談ができ電話しやすくなりました。
- ・地元のかかりつけ医から紹介されたというご家族から「どんな病院なのか不安」と相談されたときに信頼し安心であることを強くアピールできた

- ・医療機関への受診・相談が相談があった場合、武里病院をおすすめしやすくなりました
- ・受診につなげる相談がしやすくなった
- ・武里病院を知っている人もいて、地域の中で教え合うということもあるようです
- ・相談窓口があるので、初診に結びつけるまで関わりがもてる様になった
- ・相談先が身近にある
- ・相談窓口がわかり、受診につながりやすくなった、相談しやすいので助かります
- ・相談できる場所があり安心できます。利用者さんの家族にも、このような窓口があると話したりします
- ・困難事例の相談がしやすくなった
- ・相談窓口があることを知るきっかけになった
- ・情報に積極的にアプローチするようになった
- ・適切なアドバイスをいただいた

#### ○ 認知症疾患医療センター（医療）へ期待することは何ですか？

- ・在宅での利用者さんの様子をくみとっていただき、短期入所治療をしてほしい
- ・介護との連携
- ・認知症の方への在宅での生活を安全、安心して過ごす方法を教えて欲しい
- ・病状悪化者の入所相談についての専門窓口があれば・・・
- ・病院は敷居が高いとご家族から話があります。  
もう少し気軽に相談しやすい場所であれば・・・
- ・薬剤の調整で生活の中のその人の様々な状況をきいてもらって、必要であればその人の1日のリズムなど周辺症状の事、生活リズムの中でジャストタイミングの適切な薬剤の処方薬の処方など一緒に考えたい。
- ・早期に診断を！と思っても予約がかなり先になってしまう、、、ということもよくきかれています。圏外に住む家族が困るというケースが・・・
- ・短期入所（介護保険利用）施設があると助かる
- ・多件数の処理力
- ・緊急の対応ができない
- ・早期の発見の段階で相談・受診となるが、センターが介在してかかりつけ医との情報交換も早めに対応していただけると助かります
- ・家族は本人がどのように変わっていくのか心配しているので話をきいてほしい。まだ、対応をどうしていただければいいか教えてあげてほしい。
- ・早期発見はわかるのですが、本人がしっかりされているときは、家族も声かけ、受診するにも時間がかかる。そんなとき関わり方を指導してほしい
- ・経済面での相談が気軽にできるになれば良いかとおもいます
- ・研修

- ・合併症、救急での体制
- ・他の医療機関との連携体制

○ (介護・ケア) 対策事業としてどのような取り組みが必要だと思われますか？

- ・認知症専門のデイやショート等を増やす
- ・個別ケアカンファレンスの充実
- ・研修
- ・早期発見、各家族への働きかけをし、早期に対応する
- ・周辺症状の対応
- ・在宅生活困難者に対する迅速な入居・入所可能な施設の空き情報把握
- ・市内の病院リスト
- ・情報交換
- ・連携
- ・チームケアが必要。援助者側が相談できる場所が必要だと思います
- ・地域の方への認知症理解の為の対策
- ・受入体制の整備
- ・人的環境の重要性を知る事
- ・認知症サポーターの養成

問5 問1、問2で「はじめて」と回答した方

○ 参加した感想をお聞かせ下さい

- ・新薬について勉強になった
- ・多職種が連携をとることが重要であると再認識できた
- ・今後も参加したい
- ・家族に参加してほしい
- ・ケアパスの説明がわかりずらかった。パワーポイントの色がわからない
- ・事例などを通して事業の詳細が知りたい
- ・認知症はどうにもならない事だと思っていたが、早くに発見し、社会生活の仲間に入っていけるようにすべきだと思った

○ 認知症介護における医療と介護の連携において、現状困っていることや課題はどのようなことがありますか？

- ・要介護者に認知症状があり、介護者が心身共に疲労しているにもかかわらず、受診にふみきれない家族がいる
- ・認知症が進行がはやく早く入院を家族が希望したが、すぐに入院出来なかった

- ・医療と連携させていただくにあたってはいまだに二の足を踏んでしまう場面が多いので、今後も今回のような研修等を通して連携しやすい環境づくりをしてほしい
- ・受診につなげるまでが困難
- ・家族の理解が乏しい
- ・独居の方にたいして限界を感じる。家族と病院とのいたばさみ
- ・受診しても施設での介護の現状を理解してもらえない
- ・病院側の介護保険についての理解や、協力・連携体制が感じられない
- ・早くに評価をして治療すること
- ・イニシアチブをちる機関がないように思う
- ・気づくのがおくらせてしまう現状
- ・情報の共有・連携方法
- ・具体的な対応方法
- ・本人のニーズはどこにあるのか
- ・ゴール設定をどのようにすすめるのか
- ・アリセプトがからだに合わない方に、パッチタイプの薬が出るのを待っている
- ・連携を嫌がる病院があります

## 問6 「センター方式」について

### 聞いたことがあるが活用はしていない

・介護支援専門員	37	・保健師	0
・相談員	5	・作業療法士	0
・看護師	3	・その他	3
・介護職	2		

### 活用している

・介護支援専門員	3	・保健師	0
・相談員	0	・作業療法士	0
・看護師	1	・その他	0
・介護職	2		

### はじめてきた

・介護支援専門員	19	・保健師	3
・相談員	7	・作業療法士	2
・看護師	5	・その他	1
・介護職	3		

#### 基礎研修を受講してみたい

・介護支援専門員	35	・保健師	1
・相談員	9	・作業療法士	1
・看護師	5	・その他	4
・介護職	4		

#### すでに基礎研修を受講している

・介護支援専門員	5	・保健師	0
・相談員	0	・作業療法士	0
・看護師	0	・その他	0
・介護職	1		

#### 今のところ関心はない

・介護支援専門員	19	・保健師	2
・相談員	3	・作業療法士	1
・看護師	4	・その他	0
・介護職	2		